

いずみ

中央公民館 TEL 2-1178
 FAX 2-1372
 社会教育課 TEL 2-5880

■毎月第4日曜日は(2月22日)は中央公民館の休館日です。

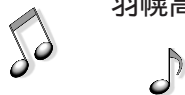
成人講座受講生募集

リズムダンス教室

- ◆開催日 3月3・9・12・16・19・23日 計6回
- ◆時間 午後1時30分～3時30分
- ◆定員 30名程度
- ◆講師 前田 千鶴子 氏
- ◆持ち物 運動しやすい服装・運動靴

コーラス教室

- ◇開催日 3月9・10・16・17・23・24日 計6回
- ◇時間 午後7時～9時
- ◇定員 20名程度
- ◇講師 羽幌高校教諭 泉水 宏太 氏
羽幌高校教諭 山神 舞子 氏
(ピアノ伴奏)



会場 いずれも中央公民館大ホール
 受講料 無料
 対象者 16歳以上の方(但し高校生は除く)
 申込み 中央公民館(☎2-1178)へ
 申込期限 3月1日(月)

募 集

平成16年度

羽幌町いちい大学(高齢者大学) 学生募集

☆学生募集要項

- 趣 旨 長寿社会の中で心身の健康につとめながら、生きがいのある幸せな生活を送るため、新しい知識、技術の習得に努める。
- 開設場所 中央公民館
- 開設期間 平成16年4月～平成17年3月まで
- 修業年限 本 科 2カ年
大学院 2カ年
研修科 年限無し
- 対 象 者 60才以上の方
- 学習時間 午前10時～午後3時まで(月2～3回)
1回の学習は2時間です(午前)
1回のクラブ活動は2時間です(午後)
- 学習 32時間
介護・福祉 園芸 生け花 絵手紙
軽スポーツ 町外視察他
- クラブ活動 22時間
希望の多いものを取り入れます
- 特別活動 58時間
修学旅行(2泊3日) 大学農園
大学祭 炊事遠足・運動会・球技大会
自治会活動(忘年・新年の集い)
- 授業料 無料
但し、学生自治会費・クラブ活動費・特別活動費に若干の経費を要します
- 申込方法 中央公民館(☎2-1178)へ
- 申込期日 3月31日(水)まで



☆青少年に関する情報、ご意見などがありましたら社会教育課(☎2-5880)へご連絡ください。
 ☆子どもの遊び場として公民館の空き室を開放いたしますので利用したい方は社会教育課へご連絡ください。

第3回 「カラーコーディネート&カラーセラピー」

▷日程 3月9日(火) 午後7時～9時
▷講師 トゥルーカラーズ 渡辺 朋代 氏

カラーセラピーで色の不思議さを実感し、面から輝き、カラーコーディネートによって、自分の選ぶ色で自分自身を表現。色のパワーを取り入れて素敵なライフスタイルを作りましょう。

会場 いずれも中央公民館小ホール
受講料 無料
対象者 町内に住む女性の方
申込み 中央公民館 ☎ 2-1178 へ

展 示

児童生徒絵画・ポスター展（入賞作品合同展）

町内幼稚園・小・中・高校生の全国作品展に入賞した作品を展示いたします。

【開催日】 3月10日～16日（7日間）
【場 所】 中央公民館展示ロビー

羽幌町女性教養講座

第1回 「美しい歌声とウィーンでの暮らし」

▷日程 2月24日(火) 午後7時～9時
▷講師 オペラ歌手 大友 幸代 氏

羽幌町焼尻生まれ。苫前町古丹別の小中学校を卒業後、ウィーン国立音楽大学を首席で卒業され、数々の国内外のコンサートにソリストとして出演。ウィーンで長い間生活されていることから、異文化の中での暮らしぶりを国際理解という観点からお話いただくとともに、美しい歌声もご披露して頂きます。

第2回 「絵手紙講座」

▷日程 3月4日(木) 午後7時～9時
▷講師 教育長 遠藤 武夫 氏

花や風景を描いてみましょう。
講師からあらかじめ下絵を書いていただき、それに色付けをします。
2時間以内に仕上がるよう指導して頂きます。



社会教育通信

平成15年12月に青少年育成に関する方向性が国から示されました。

内容としては、人生の3分の1に相当し、人格の基礎が形成される青少年期に社会が及ぼす様々な問題を的確に捉え、青少年の育成を保健、福祉、教育、労働、非行対策などの幅広い分野にわたる施策を総合的かつ効果的に推進する内容となっております。

最近、マスコミなどで青少年の様々な問題が報道されており、問題行動の若年化が進んでいます。報道がある度に「なぜ」、「どうして」、「昔では考えられない」、「今の子どもは・・・」などの大人の言葉が聞かれますが、言葉の終わった後に感じられるのは「自分の廻りではそんなことがない。まして自分の子どもに関して「は。」という雰囲気です。今の青少年を育てたのは、まぎれもなく私たち大人

であり、時代の変化、社会の変化だけが悪いのではないという気がします。問題が報道される度に「家庭環境」のことが必ずといってよいほど話題に上がります。

こんな話のある講演会で聞きました。自分の親に対して「あの時ほくを怒ってくれていれば・・・」ある施設に入所している若者の言葉です。この言葉が全てを物語っています。

最近、子ども同士の間でゲームなどに「金銭」を賭けて遊んでいる子どもたちがいるという話を聞きました。ゲームなどで楽しむのは良いのですが、「金銭」を賭けることには問題があります。先に述べた「あの時・・・」にならないように家庭での子ども様子を注意したいものです。

